

統合科目

薬理学・歯科薬理学

《担当者名》 歯学部教授 / 谷村 明彦 歯学部准教授 / 根津 顕弘

【概要】

主な演習問題を使って薬理学総論及び主な薬物の薬理作用について再確認し、国家試験受験のための基礎的学力を身につける。

【学修目標】

薬理学総論及び主な薬物の薬理作用について説明する。
薬理学的知識を国家試験問題と関連づける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	薬物の効果に影響を与える因子 薬物の投与 薬物の生体内分布 薬物の併用	総論で学んだ薬理学用語を覚え、その内容や意味を説明する。	谷村 明彦
2	中枢神経系に作用する薬物 末梢神経系に作用する薬物 循環器系に作用する薬物 止血薬 抗炎症薬 消毒薬、抗菌薬	主な薬物の名称を整理し、その薬理作用について列挙する。	谷村 明彦
3	医薬品の分類 医薬品の管理 歯科臨床で用いる医薬品 歯科領域における薬物の副作用	薬事法における医薬品の分類を列挙する。 麻薬および向精神薬について復習し、その管理を列挙する。 歯科臨床で用いる医薬品について説明する。 歯科領域で見られる薬の副作用を列挙する。	根津 顕弘
4	復習と問題解説	これまでに実施した試験問題を解説し、知識と理解を列挙する。	谷村 明彦
5 ） 6	演習問題と解説	演習問題を解き、薬理学全般の知識を列挙する。	根津 顕弘

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験 100%

【教科書】

「薬理学（歯科衛生士教本）」 医歯薬出版

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について復習しておく。（各60分）